

証券コード：6928



# 第57期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



# 株主の皆様へ



代表取締役社長

**武内 延公**

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。第57期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

エノモトグループは1962年の創業以来、コア技術である金型加工を中心に新技術を開発し、社会構造の変化によって激変する最先端の市場の要求に応じて参りました。そして、経営理念である「経営の中心は人であり、健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に貢献する」という精神のもと、2030年度までの長期経営ビジョン

として『金型の技術で未来を創る～より小さくより速く 最先端の技術で暮らしとビジネスのベストパートナーを目指す～』を策定し、これからも日本のものづくりに貢献し続ける決意を新たにしております。

世界は持続的な開発目標（SDGs）という大きなテーマの達成を目指しており、参画は企業

## 財務ハイライト（連結）

### 売上高

(単位:百万円)



### 経常利益

(単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



活動における責務といえます。当社グループは効率的な電力供給に不可欠なパワー半導体や、省エネルギー照明の代表格であるLED（発光ダイオード）の部品となるリードフレームをはじめ、EV化の進む自動車に欠かせない電装部品、DXを支える最先端のモバイル機器やウェアラブル端末の内部に使用される超精密コネクタ部品など、今後の社会の発展を支えるキーテクノロジーに関わる製品を手掛けることで、その一端を担っていると自負しております。

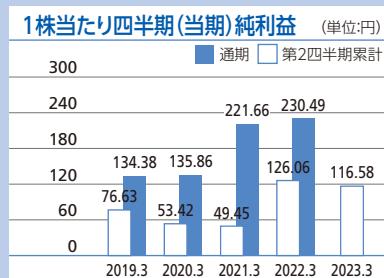
当社グループは、長期経営ビジョン達成のための施策として期間を3段階に分け、2021年度から2023年度の3ケ年を第1段階と位置付けております。その2年目にあたる2022年度の経営重点テーマとしては『自制』を掲げました。これは

日々、予測不可能な環境への対応力を磨いていく過程で必ず伴う「痛み」や「犠牲」を自ら制御し、成長するための原動力となる強い意志を端的に表したものです。

当社はグループのコア技術である金型加工の更なる高みを目指すと共に、そこから派生した新規技術を組み合わせ、最先端デバイスの開発と発展に常に寄与する、最も信頼されるビジネスパートナーであり続ける決意でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解と、今後の事業展開に向けた長期的なご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2022年12月



# 事業別の概況

## 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により経済活動の正常化に向けた動きが一層活発化する一方、中国の都市封鎖によるサプライチェーンの混乱や、ウクライナ情勢等に起因する世界的な物価及びエネルギー価格の高騰に強い影響を受けております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、依然として強い自動車及び産業用機器の需要に対して、半導体や資材の供給不安により生産の状況が不安定化し、十分な供給ができないケースが散見されています。

このような状況下、当社グループは特に世界的な需要拡大局面にあるパワー半導体用リードフレーム及び、高度な金属と樹脂の複合加工技術力を最大限に活用できる超微細コネクタ用部品に注力し、売上及び収益力の向上に努めて参りました。また、収益力の更なる強化を目的として、スマートファクトリー化に向けたシステム構築や作業と管理の自動化・効率化への積極的な投資を推進しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は安定的なパワー半導体用リードフレームの需要に加えて高騰する原材料価格の売価への転嫁進行と、円安による海外子会社の円換算額の増加等の影響から146億5千万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。営業利益は生産力増強に伴う減価償却費や人件費の増加及び、エネルギー価格の上昇による経費の増加から9億3千8百万円（同18.5%減）となりました。また、経常利益は11億2千7百万円（同3.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億7千8百万円（同8.2%減）となりました。

## 通期の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の感染の再拡大に対する懸念が残りつつ

も、経済活動の正常化に向けた動きは加速しており、世界的に経済が停滞するリスクは低下しています。

また、急速に進行した円安は、売上の海外比率が大きいため当社にとって概ねプラス方向に作用しておりますが、同時に進むエネルギー価格の急激な上昇が経費の増加を招いています。

当社グループのリードフレーム、コネクタ用部品の受注環境は依然として市場の長期的な成長トレンドの中にありますが、足下における感染症や地政学的なリスクの影響に起因する自動車産業を中心としたサプライチェーンの混乱や、前期に発生したスマートフォン向けの前倒し需要の反動により一部において一時的な踊り場局面を迎えております。

このような環境下、当社グループは当社の強みである金属と樹脂の精密複合加工技術をベースとして過去の枠組みにとらわれない新たな顧客の開拓を積極的に行い、全社一丸となって売上及び収益力の更なる向上に努めて参ります。

## 通期の連結業績予想

通期の見通しにつきましては2022年5月10日に発表いたしました予想のとおり、売上高286億円（前連結会計年度比5.0%増）、営業利益22億円（同9.3%増）、経常利益22億円（同7.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益16億5千万円（同6.8%増）を見込んでおります。

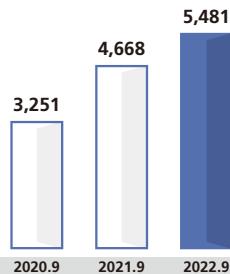
売上高	28,600百万円
営業利益	2,200百万円
経常利益	2,200百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,650百万円

## パワー半導体用リードフレーム

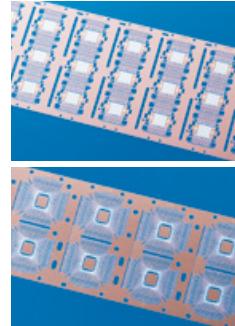
売上高 54億8千1百万円（前年同四半期比16.8%増）

### 売上高推移

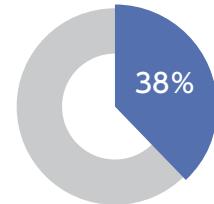
（単位：百万円）



当製品群はパワー（電源）システムへの使用を中心とする個別（ディスクリート）半導体及びモジュール等に使用されるリードフレームを含んでおります。最終製品の用途では、自動車向けや産業用機器向け及び民生用機器向けが主なものとなります。自動車向けでは電装化の加速やADAS技術の発展と普及、その他の分野においてもDXやGXといった社会革新による追い風を受け、パワー半導体の需要が増加していることから好調を維持しております。その結果、当製品群の売上高は54億8千1百万円（前年同四半期比16.8%増）となりました。



売上高比率

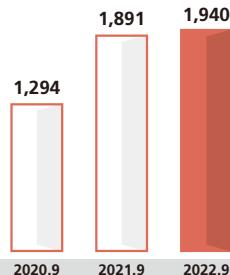


## オプト用リードフレーム

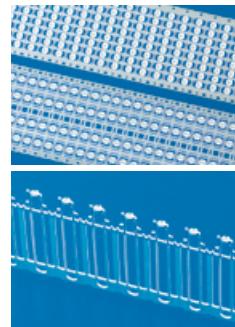
売上高 19億4千万円（前年同四半期比2.6%増）

### 売上高推移

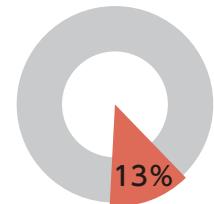
（単位：百万円）



当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。海外の交通インフラ向けやアドバタイズメント用途の屋外ディスプレイ向けなどに一定の需要はありますが、一時的な在庫調整局面を迎えたことにより横ばいで推移しました。その結果、当製品群の売上高は19億4千万円（同2.6%増）となりました。



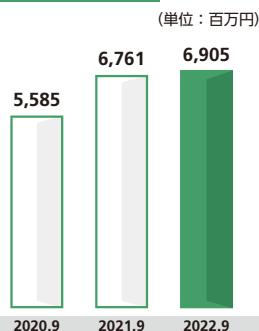
売上高比率



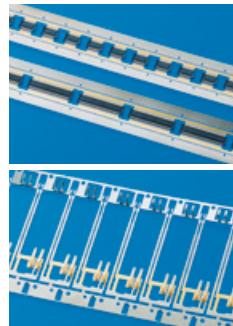
### コネクタ用部品

売上高 69億5百万円 (前年同四半期比2.1%増)

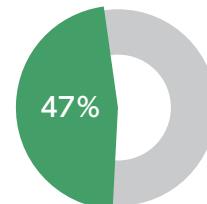
#### 売上高推移



当製品群は、自動車向け、モバイル端末向けが主なものであります。自動車向けの需要が減少したほか、モバイル端末向けではスマートフォン向け部品が減少した一方、ウェアラブル端末向け部品は機器の普及に伴う市場拡大により増加しました。その結果、当製品群の売上高は69億5百万円 (同2.1%増) となりました。



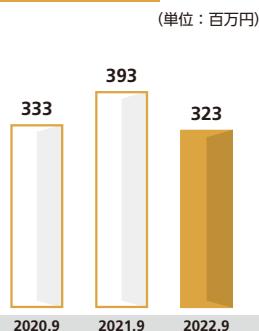
売上高比率



### その他

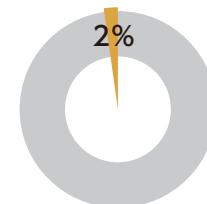
売上高 3億2千3百万円 (前年同四半期比13.0%減)

#### 売上高推移



その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は3億2千3百万円 (同13.0%減) となりました。

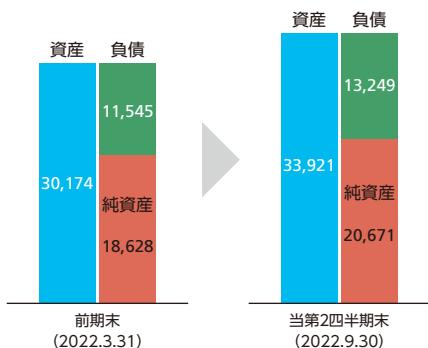
売上高比率



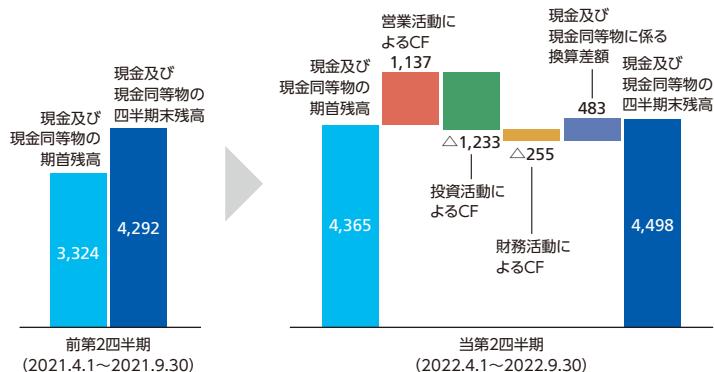
# 四半期連結財務諸表

# Consolidated Financial Statements

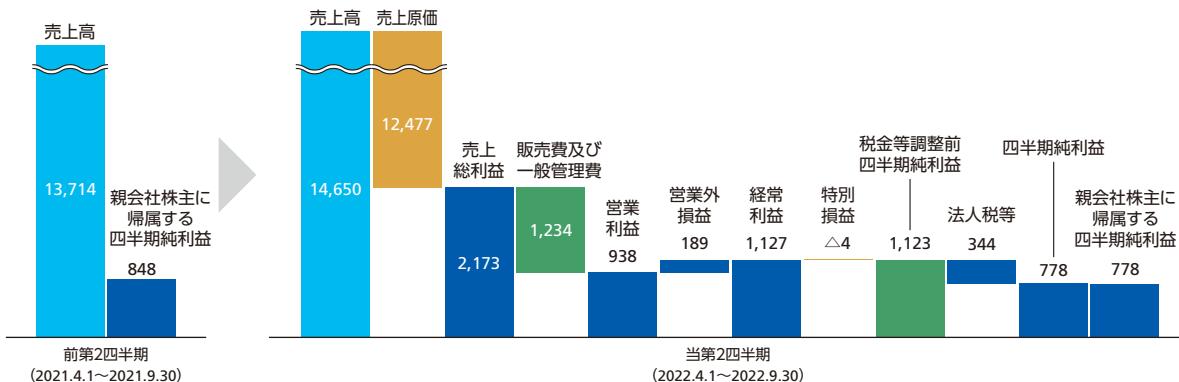
## ■ 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



## ■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



### POINT!

#### (連結貸借対照表)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ37億4千7百万円増加し、339億2千1百万円となりました。流動資産は、売上債権及び棚卸資産が増加したことにより前連結会計年度末に比べ22億2百万円増加の192億8百万円となりました。固定資産は、円安による海外子会社の円換算額増加に加え、鍍金設備及び太陽光発電設備の取得により前期末に比べ15億4千4百万円増加の147億1千2百万円となりました。

一方、負債合計は、前期に比べ17億4百万円増加し、132億4千9百万円となりました。これは主に仕入債務の増加によるものです。

また、純資産は利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加により206億7千1百万円となりました。この結果、自己資本比率は60.9%となりました。

#### (連結キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期連結結果計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ2億5百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には44億9千8百万円となりました。当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は11億3千7百万円(前年同四半期は18億1千5百万円の取得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益11億2千3百万円の計上及び減価償却費の計上8億5千万円による資金の増加、売上債権の増加7億9百万円及び棚卸資産の増加5億3千8百万円による資金の減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億3千3百万円(前年同四半期は12億1千2百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12億3百万円による資金の減少によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億5千5百万円(前年同四半期は2億6百万円の取得)となりました。これは主に配当金2億4百万円の支払による資金の減少によるものであります。

### ■株式の状況

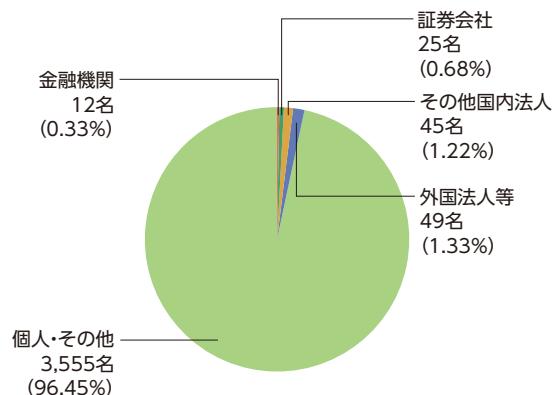
発行可能株式総数	15,000,000株
発行済株式の総数	6,865,360株
株主数	3,988名

### 大株主

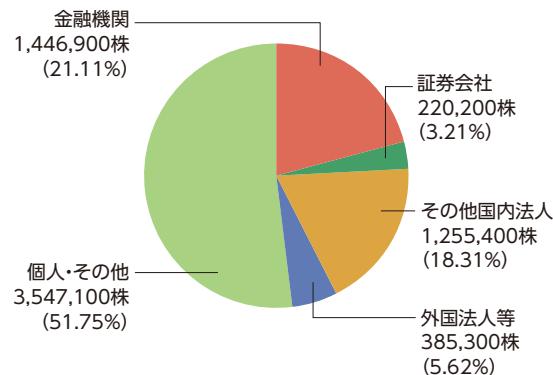
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	803,700	11.8
有限会社エノモト興産	630,260	9.2
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	509,200	7.4
有限会社エムエヌ企画	420,328	6.1
榎本寿子	128,104	1.8
櫻井妙子	128,060	1.8
野村證券株式会社	108,990	1.6
櫻井宣男	93,660	1.3
榎本貴信	89,600	1.3
エノモト従業員持株会	81,992	1.2

(注) 持株比率は自己株式(57,975株)を控除して計算しております。

### 所有者別単元株主数比率



### 所有者別単元株式数比率



### ■会社概要 (2022年9月30日現在)

社名	株式会社エノモト
本社	山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554 (62) 5111
創業	1962年7月1日
資本金	4,749,333千円
従業員数	520名
事業内容	各種電子部品用プレス加工品及び 射出成形加工品の製造販売
子会社	ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc. ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

### ■役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	武内 延 公	上席執行役員	磯部 千 春
代表取締役専務	白鳥 誉	上席執行役員	小川 秀 雄
取締役	櫻井 宣 男	執行役員	中村 隆
取締役	久嶋 光 博	執行役員	佐藤 裕 光
常勤監査等委員(社外)	加藤 正	執行役員	武井 勉
監査等委員(社外)	八巻 佐 知子	執行役員	馬場 一 也
監査等委員(社外)	氏家 美 千代		
監査等委員(社外)	武藤 比 良志		

### ■国内拠点

本社	〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554(62)5111 FAX 0554(63)4193
営業部	〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554(62)5112 FAX 0554(62)4319
本社工場	〒404-0036 山梨県甲州市塩山熊野666番地 TEL 0553(32)1111 FAX 0553(32)1159 〒409-0198 山梨県上野原市上野原8154番地19 TEL 0554(62)5115 FAX 0554(62)4089
津軽工場	〒037-0017 青森県五所川原市大字漆川字玉椿191番地1 TEL 0173(33)0570 FAX 0173(34)5206
岩手工場	〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39番地 TEL 0193(42)8511 FAX 0193(42)8513

### ■海外拠点

エノモトフィリピンマニファクチャリング インコーポレーテッド ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.
益能達 (香港) 精密有限公司 ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd.
中山益能達精密電子有限公司 ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

ホームページのご案内

<https://www.enomoto.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



## 津軽工場に太陽光発電設備を設置

当社は今期中期環境計画を策定し、GHG（温室効果ガス）排出量を2030年度までに2012年度比で33.3%削減することを目標としております。

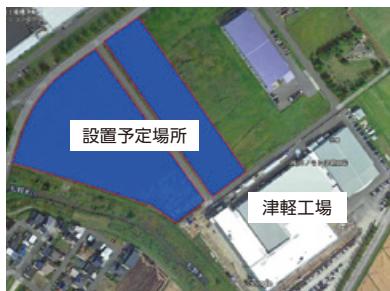
その施策の一つとして、再生可能エネルギー活用に向けた最重要事項であります太陽光発電設備の整備を進めております。現時点においては国内で0.4MW、海外で1.2MWの発電容量を保持しておりますが、この度新たに津軽工場の用地にて1.7MWの発電所建設工事に着手しました。投資金額は5億円強で2023年1月竣工を目標にしており、完成後は既存設備を含めて計3.3MWの発電容量に増える予定となっております。

着雪・積雪等の対策として太陽電池の傾斜角度を30°、最低地上高を1.5mとしているほか、両面受光型太陽電池を採用し、雪の反射を生かしながら発電できるところが特徴です。

年間発電容量は約200万kWh、GHG排出削減量は約1,044t-CO<sub>2</sub>を見込んでおります。

持続可能な社会の実現のため、再生可能エネルギーの利用を加速し、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組みを強化して参ります。

- 完成予定：2023年1月
- 発電容量：約1.7MW
- 年間発電量：約200万kWh（2023年度より）



### 【特徴】

- 発電量は全て自家消費
- 着雪対策  
太陽電池傾斜角度30°  
両面受光型太陽電池採用
- 積雪・浸水対策  
太陽電池の最低地上高は1.5m
- B C P対策  
蓄電池設置

(出所) GOOGLE MAP

GHG排出削減量：約1,044t-CO<sub>2</sub>

### 参考情報 既存の太陽光発電設備



本社（上野原）      本社（塩山）      本社（塩山・屋根）

国内発電容量 ▶ 約0.4MW



フィリピン      中国

海外発電容量 ▶ 約1.2MW

既存の発電容量：国内海外合わせて約1.6MW

津軽発電所完成後の発電容量：約3.3MW

## 津軽工場のスマートファクトリー化

中長期計画ファーストステップにおける施策の一つとして津軽工場のスマートファクトリー化を進めており、この度自動倉庫とAGV（無人搬送車）を導入しました。

天井まである自動倉庫と製品・材料・梱包用品等を載せて自動倉庫と製造現場を往復するAGVを組み合わせて活用することで、倉庫作業や運搬作業の自動化、在庫管理の最適化、活スペースなどの効果を得ております。また、全ての製造装置におけるIoTとERPシステムの活用により、製造状況のリアルタイムなデータ化や作業の適正化、そして高精度な所要量計算によって生産の効率化を実現し、将来的にはAIの活用を見据えビッグデータの構築と解析を進めて参ります。

津軽工場を自動化と効率化を牽引していく工場と位置付け、先行して最新設備の導入と試行を行い、将来的には国内外の各拠点に展開していくことを想定しております。

当社が創業以来積み重ねた金型技術のデータベース化と最新機器の導入を積極的に進め、それらを組み合わせることによって、さらに高い水準でのものづくりを追求して参ります。

自動倉庫

運搬

製造現場



AGV（無人搬送車）



製品  
材料  
梱包用品  
etc.

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月下旬  
基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
特別口座の  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の  
本店及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。https://www.link-cc.co.jp  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 6928

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます

# ENOMOTO Co., Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

